

平成 17 年度当初予算 重点プログラム別概要

絆 1 : 観光みえの魅力増進プログラム

(主担当部局 : 農水商工部)

新 (1) 「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業

(2) 観光客誘客推進事業

(3) 観光商品づくり推進事業

(4) 外客誘致推進事業

新 (5) 魅力ある観光地づくり支援事業

新 (6) 三重の食パワーアップ 100 事業

新 (7) 熊野古道特産品共同研究開発事業

新 (8) 産業観光資源創造事業

(9) 伊勢志摩快適空間創造事業

(10) 松阪・東紀州地域交流空間創造事業

(11) まちづくりプロジェクト事業

新 (12) 三重の観光人材育成事業

注 : 新 は、新たに重点プログラムに追加した事業です。

< プログラムの事業費 >

(単位 : 千円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	486,537	490,000	599,000	1,576,000 程度
見直し後	490,202	630,072	771,000	1,891,274

注 : 見直し後の 16 年度は 12 月補正後予算額、17 年度は当初予算額、18 年度は同見込額

< 事業目標の見込み > 1 月末時点で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 新 観光商品を企画する旅行会社数	目標値		8 社	8 社
	実績値			
(2) 観光ルートの提供件数 (累計)	目標値	10 件	20 件	20 件
	実績値	11 件		
(3) 観光商品の提供件数 (累計)	目標値	15 件	30 件	50 件
	実績値	15 件		
(4) 外客誘致プロモーション件数	目標値	5 件	5 件	5 件
	実績値	5 件		
(5) 新 魅力ある観光地づくり実施件数	目標値		8 地区	8 地区
	実績値			
(6) 新 研修後改善された土産物数 (個)	目標値		0 個	100 個
	実績値			
(7) 新 産学官が連携し生まれた技術を活かした製品の提供件数	目標値		2 件	6 件
	実績値			

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(8)新産業観光の事業化数	目標値		2 件	3 件 (累計)
	実績値			
(9)整備計画に基づく取組内容着手率	目標値	55%	70%	70%
	実績値	66%		
(10)整備着手地区数	目標値		2 地区	4 地区
	実績値			
(11)整備地区数	目標値	2 地区	3 地区	3 地区
	実績値	2 地区		
(12)新観光地マネージャーの育成人数	目標値		20 人	20 人
	実績値			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・平成 15 年 10 月に設置した「三重県の観光振興のあり方検討懇話会」でご議論いただき、平成 16 年 11 月に「三重県観光振興プラン」を策定するとともに、各地域の観光振興の方向性を「地域別観光振興のあり方」として提案しました。
- ・観光客の誘客を促進するため、観光プロデューサーを配置し、魅力ある観光商品づくりを進めるとともに、観光資源の発掘から観光商品化、販売まで一括して行う「三重県独自の集客システム」を構築しました。今後は、各関係機関が連携し、それぞれの役割を担うことにより、一体となった誘客システムを確立していくことが必要です。
- ・観光客誘客のため、旬の行事に合わせた伊賀地域への誘客キャンペーンを実施したほか、熊野古道シャトルバスの運行、中部国際空港の開港及び愛・地球博を活用した誘客キャンペーンを実施しています。加えて外客誘致のため、外国語版HPやガイドマップを作成し、海外でのプロモーションを実施しました。ビジット・ジャパン・キャンペーンに呼応して外国人観光客の誘客を推進するには、中部圏や関西圏の協議会と連携し、海外でのプロモーションや商品造成の働きかけなどにより本県をPRすることが必要です。

ビジット・ジャパン・キャンペーン：国のグローバル観光戦略に基づいた、国・地方・民間共同による国を挙げての戦略的かつ効果的な訪日キャンペーン

- ・観光交流空間づくりでは、先駆的取組が評価され、伊勢二見地域観光交流空間づくり事業と「紀伊山地の霊場と参詣道」広域連携観光交流空間づくり事業が、国のモデル事業として選定されました。
- ・観光客の満足度を高め、口コミ情報によるリピーター客の増加を図るためには、おもてなしの心の醸成が必要です。また、魅力的な観光地づくりを進めるための人材を育成することが緊急の課題となっています。

<平成 17 年度の取組方向>

- ・観光みえの魅力増進にあたっては、「三重県観光振興プラン」の3つの観光構造の変革と4つの基本姿勢の趣旨に沿って、6つの戦略により推進していきます。
- ・情報発信・誘客戦略として、三重県の魅力ある観光資源、「食」をメインテーマとし、メディアミックスによる情報発信を官民協働で行うとともに、具体的な誘客につながる商品づくりを効果的に働きかけ、本県への誘客を促進していきます。
- ・観光地の魅力づくり戦略として、誘客につながる魅力ある観光地づくりを行う市町村を支援します。また、観光客に提供する本物の三重の食づくりや新たな資源としての産業観光の創出など、特色を活かした観光地の魅力向上を進めます。
- ・社会基盤整備戦略として、個性豊かで魅力あるまちづくりを目指して、快適な観光交流空間づくりなど観光客が来訪しやすい環境づくりを進めます。
- ・ひとづくり戦略として、ホスピタリティの向上や活力ある観光地を目指して、観光地づくりを総合的にコーディネートする「観光地マネージャー」などの人材育成を進めます。

<主な事業>

新「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業【17年度当初予算額 94,183千円】

中部国際空港の開港を契機に、首都圏等全国から誘客できる観光地を目指し、「三重県観光振興プラン」及び「地域別観光振興のあり方」に基づき、基本テーマを設定し、誘客企画の実施や情報発信の充実を行います。

新魅力ある観光地づくり支援事業【17年度当初予算額 35,181千円】

地域が取り組む「住んでよし、訪れてよし」の魅力ある観光地づくりを支援し、首都圏等全国から誘客できる観光地を目指します。

新三重の食パワーアップ100事業【17年度当初予算額 26,000千円】

三重の観光の重要な要素である「食」に関して、観光キャンペーンと連動しながら、観光地の魅力を向上させるため、「本物」の三重の食づくりに取り組み「食べ物」の商品力を強化しようとする製造事業者に対し、モニター調査などをおしてマーケティングの観点から商品のブラッシュアップ戦略を策定する研修を実施し、改善された商品が観光客に提供されるようにします。

新熊野古道特産品共同研究開発事業【17年度当初予算額 5,011千円】

東紀州地域の生産者、民間企業、市町村、県、高等教育機関等が連携・交流しながら、農業等第一次産業を活かした特産品開発を行います。

新産業観光資源創造事業【17年度当初予算額 1,817千円】

地域産業等と異業種の連携により、産業観光の重要性や可能性をPRし、地域の産業を観光資源として創出させるための支援を行います。

新三重の観光人材育成事業【17年度当初予算額 6,961千円】

ホスピタリティを発揮できる人材や観光地づくりを総合的にマネジメントできる人材などを育成し、「三重県観光振興プラン」において観光振興の基本姿勢に位置づけられた「おもてなしの心の醸成」や「現場主義の徹底」の実現を図ります。